



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和元年度 第14号 1月8日

令和2年 明けましておめでとうございます！



「明けましておめでとうございます。」「今年もよろしくお祈りします。」登校してくる子どもたちの、とても素敵なあいさつで、3学期が始まりました。今年の子年。子(ねずみ)は繁殖力が高く、子孫繁栄の象徴とされています。植物に例えると子年は「新しい生命が種子の中にきざし始める時期」とされ、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。何か新しいことに挑戦してみたいですね。また、「ミッキーマウス」やトムとジェリーの「ジェリー」、「ピカチュウ」など、ねずみのキャラクターも数多くあり、どれもかわいらしく子どもたちにも人気があります。古くは、トッポジージョもねずみでした。今年がオリンピックイヤーでもあり、昨年のラグビーワールドカップ以上に、日本中が盛り上がるでしょう。7月24日の開幕が待ち遠しいところです。

1月6日(月)の3学期始業式で子どもたちに次のような話をしました。

冬休みが終わり、今日から3学期が始まりました。冬休みはどんなお休みでしたか？2学期の終業式で校長先生から、皆さんに3つのお願いをしました。一つ目は、「冬休みの間に今年1年間の目標を考えておいてほしい」ということでした。あなたはどんな目標を立てましたか？勉強のこと？運動のこと？習い事のこと？体のこと？家族のこと？みんなそれぞれに違った目標だと思いますが、やっぱり、「継続は力なり」です。1年の初めにやろうと決めたことを途中で投げ出さず、最後までこつこつ続けてほしいです。きっと、あなたにとって大きな力になると思います。二つ目は「年末年始だからできることをやってみてほしい」ということでした。大掃除や料理の手伝い、年越し、初詣などをするのができたでしょうか。三つ目は、「心のブレーキをしっかりときかせて過ごしてほしい」ということでした。交通事故、お金の使い方、家族や友達、地域の方などに迷惑をかけない。しっかりと守れましたか？

～途中省略～

次のお話は「こんな3学期に」です。最初にお話ししたように、継続は力なり、何かやろうと決めて続けて取り組んでほしいです。靴そろえやあいさつリーダーをがんばってくださいね。自分で決めたこと、例えば、毎日縄跳びをする、うがい手洗いをしっかりする、給食を残さず食べるなど「元気いっぱい」、1時間に1回は手を挙げる、毎日自主学習をするなど「勉強こつこつ」、1日1回はよいことをする、友達に嫌なことを言わないなど「親切ハート」、自分で決めたことを3学期も続けて取り組んでみましょう。また、3学期は進級や卒業に向けてがんばってほしい学期でもあります。1年生から5年生までの人は4月から一つ学年が上がります。そのための準備をするのが3学期です。6年生の人は、いよいよ卒業です。6年間のまとめをするとともに、中学校に向けて心の支度も必要です。5年生以下の人たちへ、よい伝統が残せるよう、がんばってほしいです。期待しています。

2 こんな3学期に

②卒業・進級に向けて

〇1～5年生

- ・一つ学年が上がる準備

〇6年生

- ・卒業への準備
- ・6年間のまとめ
- ・中学への「心の支度」

～ 保護者の皆様、地域の皆様、今年もどうぞよろしくお祈りいたします。～

先生たちの抱負

鹿田小学校の先生の「今年の抱負」を南棟昇降口に掲示しています。自分のこと、家族のこと、子どもたちのこと、仕事のこと、趣味のことなど様々ですが、一番多いのは「健康」に関するものでした。やはり、何よりも心と体の健康が大切ですね。

ちなみに、校長は「凡事徹底」、副校長は「なわとび上達 鹿田っ子いいところたくさん見つけ」、教頭は「運動不足解消と断捨離」、教務の岸本は「笑門来福」でした。1月末まで掲示しています。ぜひ、ご覧ください。



学校長のつぶやき ～「傾聴」すること～

鹿田小学校のスクールカウンセラーに、職員向けの研修を年3回してもらっています。その中で「傾聴」というお話を聞いたので紹介します。

「傾聴」とは、『注意深く耳を傾け、一生懸命心を込めて、相手の言っていることに込められている気持ちを理解しようとして聴く』『自分の訊きたいことを訊くのではなく、相手が話したいこと、伝えたいことを、受容的・共感的な態度で真摯に聴く』『相手への理解を深めると同時に、相手も自分自身に対する理解を深め、納得のいく判断や結論に到達できるようサポートする』ということ、話し手の体験を共有しよう、理解しようとする姿勢やあり方がポイントになるのだそうです。「私は、あなたの話を『傾聴』していますよ。」という姿勢が伝わる聴き方として、次のように「受け身的な聴き方」と「積極的な聴き方」があります。話し手の状況に合わせて、聴き方を工夫したいですね。傾聴することにより、

受け身的な聴き方

- ・沈黙(できるだけさえずらない)
- ・うなずき、相づち(うんうん、なるほど)
- ・相手の言葉を繰り返す

積極的な聴き方

- ・明確化、要約(～ということかな)
- ・気持ちをくむ言葉かけ(支持)
- ・質問

- ・信頼感の形成や認められているという体験の育みにつながる。
- ・話し手の気持ちが落ち着き、これからの希望を感じ、話し手自身が感じていることや話し手の周りで起こっていることを客観的に眺めやすくなる。

・聞き手の、話し手への理解が深まる。 という効果があるそうです。

人と人とのかわり、は、「お互いに異なっていることを認め合うこと」から始まります。そのためには、自分の物差し(価値観)をいったん脇に置いて、相手の話に耳を傾けてよく聴くことが大切です。これは子どもでも大人でも同じです。忙しい日々の中で、話をじっくり聴く時間はなかなか取れませんが、周りの人とのコミュニケーションをよりよくするためにも、「傾聴」を大切にしたいですね。